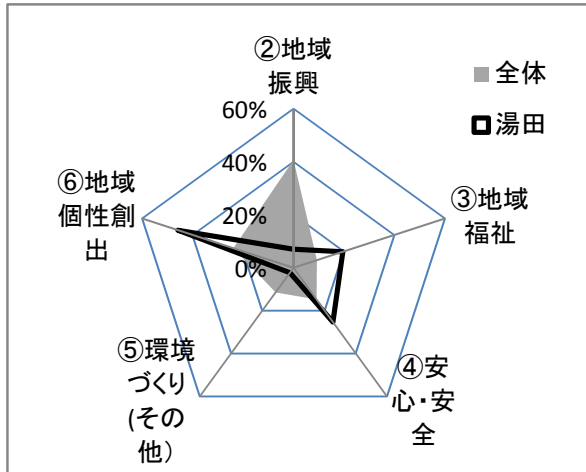


# 湯田地区コミュニティ運営協議会 地域づくり交付金事業概要(平成26年度)

## ■ 地域の情報

地域人口	12,649人	自治会数	15
世帯数	5,798世帯	自治会加入率	83.51%

※数値は、平成27年4月1日のもの



## ■ 決算状況

交付金配分枠	10,098,000 円
交付金決算額	9,672,040 円
その他収入	295 円
交付金決算額／配分額	95.8%

## 各分野の決算

① 協議会運営	3,229,191 円
② 地域振興	325,220 円
③ 地域福祉	915,706 円
④ 安心・安全	1,180,053 円
⑤ 環境づくり(土木工事)	1,778,000 円
⑤ 環境づくり(その他)	105,661 円
⑥ 地域個性創出	2,138,504 円
<b>決算総額</b>	<b>9,672,335 円</b>

## ■ 地域づくりの活動方針(テーマ)

「優しく、美しい、誰もが、安心するまちづくり」をキャッチフレーズに、住民及び各種団体が連携協力して、地域課題を掘り起こし住み良い豊かな地域づくりをすすめます。

## ■ 総括

前年度後半より「湯田地区コミュニティ運営協議会」の周知に重点を置いて広報活動等を推進してきましたが、各事業への参加者が増え、世代交流の輪が広がってきました。継続事業としての「湯田地区町内親睦大運動会」は50回大会にふさわしい内容の盛り上がりでした。特別加算地域づくり交付金を使っての維新150年記念事業も少しずつ新たな参加者を巻き込んで地元の歴史に関心をもつ人の輪がひろがっています。

## ■ 分野別事業名

①	協議会運営	事務局長及び事務局員給与・事務費
②	地域振興	広報誌の発行、ホームページ、健康福祉部会視察研修
③	地域福祉	ふれあい会食会、敬老事業助成、生涯学習の推進、ふれあい型給食サービス事業、子どもの広場、世代交流事業、母子保健事業、人権学習の推進
④	安心・安全	自主防災活動支援、ふれあい安心・安全フェスタ、防犯活動の推進、校区内巡回活動・子ども110番、湯田中VS活動、反射鏡補助事業
⑤	環境づくり	法定外公共物等整備事業、環境美化活動
⑥	地域個性創出	第50回湯田地区町内親睦大運動会、第27回湯田ふるさとまつり、湯田の歴史発掘、歴史や産業を学ぶ交流研修、ふるさとづくりミステリーハイキング、熊野公園里山づくり、行事用備品等整備

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	ふれあい安心・安全フェスタ	決算額	245,213円
	目的	住民の防火・防災・安心安全の意識高揚、住民相互の連帯感を醸成し、世代交流の場づくり、行政、地域ボランティア、地域住民との連携を強化		
	実施内容	警察・消防関連機関及び地区内関係団体の協力連携の下に各種イベントを実施しました。非常時の給食体験も実施しました。		
	実施時期	平成26年9月28日		
	参加人数	約600名		
	成果	各種イベントを通じて、参加者に防災意識の高揚が図れました。		
	評価	各行政機関と地域住民との親睦、連携を深めることができました。		
	今後に向けて	情宣、内容に工夫を加え、更に充実したものにしていきます。		
②	事業名	熊野公園里山づくり	決算額	0円
	目的	権現山を里山公園として地域住民の憩いの場にする。		
	実施内容	平成26年度においては団体加入としての承認は得られず、助成金は未執行となりましたが、7月に一斉清掃作業を実施しました。		
	実施時期	平成26年7月19日		
	参加人数	約100名		
	成果	地域連携のほか職域連携にも取り組み、交流を深めました。		
	評価	人的交流が深まり、コミュニティ構築効果は高いものとなりました。		
	今後に向けて	平成27年度加入に向け継続的な活動を実施していきます。		
③	事業名	ふるさとづくりミステリーハイキング	決算額	74,457円
	目的	自然学習の場を通して親子の活動・子どもの居場所づくりに関する活動の推進		
	実施内容	事前に詳細な行き先を告げず募集。徳地地域を「森の案内人」の案内により散策。午後は月輪寺外を訪問しました。		
	実施時期	平成26年11月9日		
	参加人数	33名		
	成果	歴史と自然を満喫し、改めて湯田地区外の特徴を知ることができました。		
	評価	行き先を告げず募集をしたにも関わらず、参加者には大変好評でした。		
	今後に向けて	今後も他地区の自然や歴史に触れるハイキングを計画し、山口市の良さを追求していきます。		